

# 住宅防火

## いのちを守る10のポイント

様々な火災の中でも、特に住宅で発生する火災で多数の死者が出ており、その出火原因はたばこ、ストーブ、こんろ、電気機器など、生活する上で身近にある機器が多くを占めます。

日頃から取り組んでいただく住宅防火対策として、4つの習慣、6つの対策からなる「住宅防火いのちを守る10のポイント」を取りまとめました。

是非、ご家族の皆様で住宅火災からいのちを守るための対策をご確認ください。

### 4つの習慣



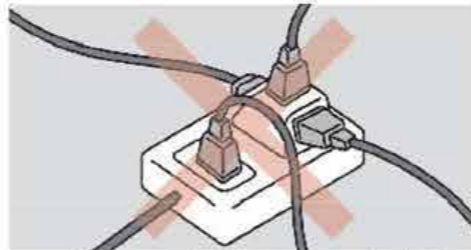
①寝たばこは絶対にしない、させない



②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

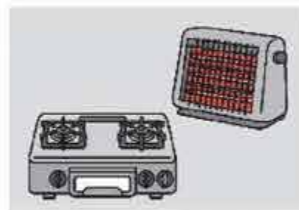


③こんろを使うときは火のそばを離れない



④コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

### 6つの対策



①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する



④火災を小さいうちに消すために、消火器等を殺害し、使い方を確認しておく



⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

※「住宅防火いのちを守る10のポイント」消防庁  
(<https://www.fdma.go.jp/mission/prevention/suisin/10.html>)を加工し作成

# 住宅防火 だより

令和  
5年

vol.25 2023Nov

- 住宅用火災警報器は10年を目安に交換をおすすめします！
- 住宅防火診断表
- いのちを守る10のポイント

## 火を消して 不安を消して つなぐ未来

(2023年度全国統一防火標語)



# 住宅用火災警報器は、 10年を目安に交換を おすすめします！

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に交換しましょう。



## 【設置時期を調べるには】

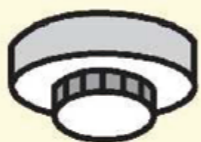
火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」、または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

## 新しい火災警報器に交換したら！

本体の側面などに、油性ペンで「設置年月」を記入しましょう。



これから10年間、  
また安心を見守るよ！



記入例  
設置年月 2014年9月

●取扱説明書は、大切に保管してください。

## 定期的に作動確認し、音を聞きましょう！

ボタンを押す、またはひもを引いて作動確認をします。

●定期的に家族で火災時の警報音を確認しましょう。

### 正常な場合は？

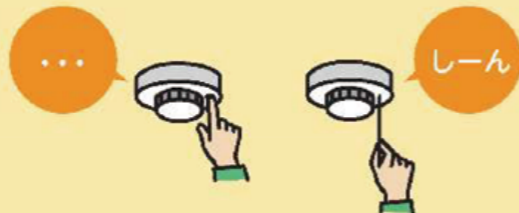
正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。



注) 警報音はメーカーや製品により異なります。

### 音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。



●それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

- ❗ ご注意ください
- 火災警報器の種類によって、細かい注意点が異なります。製品に付属している取扱説明書を必ずご覧ください。
  - お手入れや作動確認は、高所での作業となり、転倒や落下などの危険があります。安定した足場を確保して、作業を行ってください。
  - 捨てる際は、本体と電池を別にして捨てましょう。お住まいの各自治体が定める条例に従って廃棄してください。

※(一社)日本火災報知器工業会より

## 購入方法

お近くのホームセンターや家電量販店、消防設備取扱店などで購入できます。

## 問合わせ

最寄りの消防署または住宅用火災警報器相談室まで  
TEL 0120-565-911  
月曜日から金曜日までの9時～17時  
(12時～13時を除く)

## お住まいになっているみなさんで 防火診断をやってみましょう！

### キッチン周り

- コンロと壁の距離が近づきすぎていませんか。
- コンロの周りに燃えやすいものはありますか。
- コンロのそばを離れるときは、必ず火を消していますか。
- 消火器はすぐ使える場所にありますか。
- 魚焼きグリルのグリルパンを清掃していますか。

### 居間・寝室

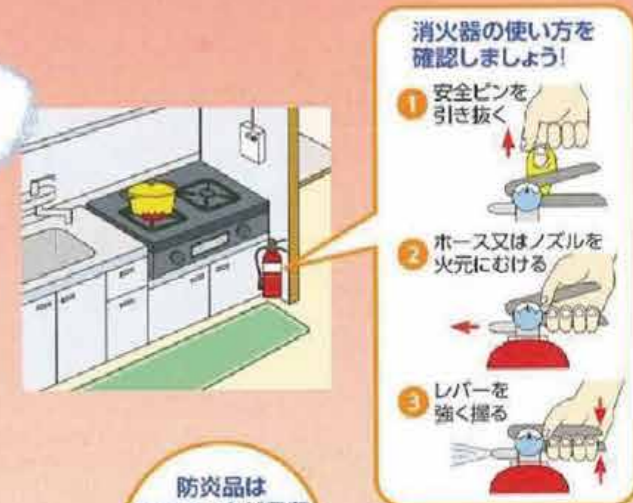
- 寝たばこはしていませんか。
- 灰皿の吸いガラは水をかけて捨て、置いたままにするのはやめましょう。
- 住宅用火災警報器は時々作動確認し、音を聞きましょう。
- カーテンなど、燃えにくい防災品を使っていますか。
- ガスコンロ(卓上・鍋用)の使用方法を取扱説明書で確認しましたか。
- 電気機器のコードは、たこ足配線になっていませんか。
- 子どもの手の届くところにライター等を置いていませんか。

### 暖房器具

- こたつなど、電気機器のコードが切れかけたり、ほこりが溜まったりしていませんか。
- 石油ストーブは火を消してから給油していますか。
- 暖房器具の上に洗濯物を干したり、近くに燃えやすいものはありますか。
- ストーブを点けたときはこまめに換気し、寝るときは消しましょう。

### 家の外

- 避難経路は確保されていますか。
- 放火されそうな物は置いてありませんか。(放火を防ぐには、周囲に暗がりをつくらないこと、ゴミ集積所の整理整頓に心がけるなど地域の結束を示しておくことが重要です。)



消火器の使い方を確認しましょう！

- 1 安全ピンを引き抜く
- 2 ホース又はノズルを火元における
- 3 レバーを強く握る

防災品はこのマークが目印

吸いガラはこまめに捨てましょう

たこ足配線は危険です

燃えやすいものは近くに置かない！

避難経路も確保しましょう！  
消防隊の活動もスムーズ！



※(一財)日本防火・防災協会より

令和4年に鹿児島で発生した火災は600件。  
その内の約25%にあたる151件は**住宅火災**でした。  
次ページの日頃から取り組むべき「いのちを守る10のポイント」をチェックして、住宅火災を防ぎましょう。

※令和4年中の鹿児島県の火災件数は概数です。

## 住宅火災の主な原因 (鹿児島・令和4年中)

- 1 たき火
- 2 火入れ
- 3 こんろ